

観光社会資本の事例

テーマ	日本三景にある庭園砂防の紅葉谷川
【施設の状況写真】 天然記念物に指定されている弥山原始林の麓にあり、その名の通り紅葉の一大名所となっている。 砂防施設として現在でも機能し続けており、周辺の環境と調和し、人々の憩いの場となっている  	
【施設の利用写真】 もみじの紅葉を楽しむ観光客 庭園空間を利用し小中学生を対象にした学習など行っている。  	
【観光資源としての利用状況】 日本三景の一つ安芸の宮島にある紅葉谷川は厳島神社背後を流れており、その中流部は紅葉谷公園として、その名の通り紅葉の一大名所としてその美しさを誇っており、観光名所となっている。	

テーマ	日本三景にある庭園砂防の紅葉谷川
【社会資本の基礎データ】 ○ 名称 紅葉谷川 ○ 所在地 広島県廿日市市宮島町 ○ 事業名 災害復旧事業 ○ 事業主体 広島県 ○ 事業期間 昭和 23 年～昭和 25 年	
【社会資本の役割・効果】 ○ 過去の災害 昭和 20 年の枕崎台風により、土石流が宮島神社の廻廊の一部を流出すると共に、神社の床下に 18,000m³ 余りの土砂が埋没した。 このため、災害復旧のため紅葉谷川の渓流工事を行うにあたって、史蹟名勝地としてふさわしい内容にするため、紅葉谷に堆積した巨石や大小の石礫を野面石のまま使用するという工夫を凝らしながら工事を行い、現在、庭園砂防として広く知られている。	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 廿日市市宮島町 HP http://www.hiroshima-cdas.or.jp/miyajima	